

「従業員が陽性」その時どうする？

～新型コロナウイルス感染症への備え～

職場で陽性者が発生、感染の可能性はある？

感染可能期間

- 感染者が有症状の場合 症状が発現した日の2日前は 令和 年 月 日
- 感染者が無症状の場合 検体を採取した日の2日前は 令和 年 月 日

自分が感染者と最後に会った日を確認

- 感染者と最後に会った日は 令和 年 月 日

感染可能期間中に会っている

いいえ

感染する可能性は低いです

はい

いいえ

感染可能期間中に以下の接触をしたか確認しましょう。
ひとつでも当てはまると「感染の可能性」があります。

- お互いにマスクなしで、手が触れる距離で15分以上会話した
- 感染者がマスクを着用せず、手が触れる距離で15分以上会話した

例) 食事やおやつを会話しながら一緒に食べた、マスクを正しく着用していない 等



はい



その従業員は感染の可能性がります

感染者と最後に会った日から14日間は、健康観察を行うよう指示してください。
検査を受けて陰性であったとしても、14日間の健康観察や外出自粛をお願いします。

- ✓ 1日2回、体温を測り健康状態を確認
- ✓ 仕事を含めた不要不急の外出は控えること
- ✓ 他の人との接触をしないようにすること

症状がある方はすぐに受診をしてください

- ① かかりつけ医・お近くの医療機関
- ② 県の専用ダイヤル (0570-056774)
お住いの自治体のコールセンター

症状のない方が検査を希望する場合にはご相談ください

- ① かかりつけ医・お近くの医療機関
- ② 県の専用ダイヤル (0570-056774)
お住いの自治体のコールセンター

受診の際の注意事項

- 医療機関に受診の連絡を入れる際に「陽性者と接触があった」ことを伝えてください。
- 事前に医療機関へ受診（検査）が可能か確認してください。
- 受診にかかる費用は受診する医療機関にご確認ください。

「従業員が陽性」その時どうする？

～新型コロナウイルス感染症への備え～

新型コロナウイルス感染症については、いつ、だれが、どこで感染してもおかしくない状況です。

このリーフレットは、従業員に感染者が発生したときに、事業者が行うことについてまとめたものです。

ご一読いただき、いつ発生するかわからない事態に予め備えていただければ幸いです。

Q1 「従業員から、新型コロナウイルス感染症と診断された」と連絡が来たら

A1 次の項目について、感染者に確認してください。

- ◆ 感染者に確認する事項
 - ✓ 検査日 ✓ 診断日 ✓ 発病（症状が出た）した日
 - ✓ 発病した2日前からの勤務状況を確認する。※無症状の方は検査日の2日前から
- ◆ 感染者の机などの身の回りや、多くの人が触れる場所（ドアノブ等）、共有部分を消毒する。
参考：厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html
- ◆ 感染の可能性がある従業員等を確認する。

Q2 感染の可能性がある状況とは？

A2 次のような状況を参考にしてください。

- ◆ 陽性の診断を受けた人と、感染可能期間中（発病した2日前から入院や自宅等待機開始までの期間）に、**マスクをしないで（アゴにずらして）**会話をした人です。
- ◆ 目安は、「**対面で話す**」場合で距離は「**1メートル以内**」時間は「**15分以上**」です。
- ◆ このほか、「咳やくしゃみをしていた」「換気が悪かった」「大きな声を出した」場合は、感染リスクがより高かったと考えましょう。
- ◆ マスクを外して過ごす同居者（家族）は濃厚接触者に当てはまる人が多いです。

参考：国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9357-2019-ncov-02.html>

Q3 感染者にならないためには？

A3 次のことに注意しましょう。

感染者や感染の可能性がある従業員が多数出ると、業務に影響を及ぼし、場合によっては一定期間休業せざる得なくなる場合が考えられます。このような事態にならないために、日ごろからの対策が重要です。以下の注意点を参考にしてください。

1. 換気の徹底
2. 手洗い（手指消毒）
3. マスクは正しく常に着用
4. オンライン会議やテレビ会議の推奨
5. 体調不良時は休める体制整備
6. 休憩（昼食時等）の工夫を
7. 1日1回、不特定多数が触る部分の消毒

